

2025_1212「駅前オーロラ」日々の理科 4142 号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

井伏鱒二に「駅前旅館」という小説があります。文字通り駅前の旅館で繰り広げられる、雑多な人間模様が描かれた短編で、森繁久彌やフランキー堺が出演する喜劇映画にもなっています。「駅前旅館」といえば、便利な宿泊施設というイメージもありますが、どちらかと言えば「駅周辺にある安宿」という意味で使われる語だと思います。しかし今回の写真は駅前は駅前でも「駅前オーロラ」です。

スウェーデン北部のヨックモック郡にあるポルユス駅は、恐らく「世界一オーロラがよく見える駅」だと思います。冬は定期列車はなく、時々保守車両や臨時列車が来るだけの北極圏の小さな駅です。今の時期は雪も深く、線路もホームもすっかり雪の下です。しかしその線路越しに毎晩すばらしいオーロラが出現しています。この駅の駅舎に 21 年前に設置したカメラが、昨夜もすばらしいオーロラ写真を東京に送ってくれました。

(2025 年 12 月中旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス駅／東京から遠隔観測)

